

- 問1 静岡県や浜松市のような大規模な都市では、都道府県に代わって市民の健康や福祉に関する多くの事務を効率的に行う仕組みがとられています。このような都市の行政組織上の特徴として、適切な説明はどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 市の中に複数の行政区を設け、それぞれに区役所を設置して窓口業務を行っている。 | 2. 都にある特別区と同様に、各区が独立した議会を持ち、独自の税金を集めている。 | 3. すべての事務を国が直接管理するため、市役所の中に国の出先機関が置かれている。 | 4. 県の権限を完全に廃止し、県庁を通さずにすべてを国と直接やり取りしている。 |
|---|--|---|---|
- 問2 ビルや商業施設が密集する都市中心部の気温が、工場やオフィスからの排熱、アスファルトによる地表面の舗装などの影響を受け、周辺部よりも高くなる現象を何といいますか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-----------|----------|-------------|
| 1. ヒートアイランド現象 | 2. フェーン現象 | 3. 地球温暖化 | 4. エルニーニョ現象 |
|---------------|-----------|----------|-------------|
- 問3 日本の諸地域のうち、中央高地に見られる気候の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 標高が高く山に囲まれているため、年間を通して降水量が少なく、冬の寒さが厳しい。 | 2. 一年を通じて温暖で降水量が多く、夏と冬の気温差が小さい。 | 3. 冬は北西の季節風の影響で雪や雨が多く、夏は比較的雨が少ない。 | 4. 夏は南東の季節風の影響で降水量が多く、冬は乾燥した晴天の日が多い。 |
|--|---------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
- 問4 日本列島の地形的な特徴とその背景について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大陸の安定陸塊の一部であるため、地震の発生は極めて稀であり、古い地層が露出している。 | 2. アルプス・ヒマラヤ造山帯の延長線上に位置するため、8000メートル級の高峰が連なっている。 | 3. 古期造山帯に属しており、長期間の浸食を受けたなだらかな山地が列島の大部分を占めている。 | 4. 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。 |
|---|--|--|--|
- 問5 日本の中部地方において、飛騨・木曽・赤石山脈からなる日本アルプスの東側に位置し、日本列島を地質学的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形帯を何と呼びますか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|----------|---------|
| 1. フォッサマグナ | 2. 環太平洋造山帯 | 3. 中央構造線 | 4. 日本海溝 |
|------------|------------|----------|---------|
- 問6 日本の気候のうち、1月の平均気温が5度前後、8月の平均気温が25度を超え、降水量は9月に200ミリを超えるピークを迎える一方、冬場は極めて少なくなる特徴を持つ地域の気候区分と、その要因の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 瀬戸内の気候であり、北側の中国山地と南側の四国山地が季節風を遮るため、年間を通じて温暖で降水量が少ない。 | 2. 中央高地の気候であり、標高が高いため年間を通じて気温が低く、季節風の影響を直接受けにくいため年間降水量が少ない。 | 3. 日本海側の気候であり、冬は湿った北西の季節風が山脈に突き当たるため雪が多く、夏はフェーン現象により気温が上昇する。 | 4. 太平洋側の気候であり、夏は湿った南東の季節風の影響を受け、冬は北西の季節風が山脈に遮られるため乾燥した晴天が続く。 |
|---|---|--|--|
- 問7 沖縄県的那覇市や宮崎県の宮崎市など、日本の南部や太平洋側に位置する都市の気象統計を確認すると、8月に比べて9月の降水量が急増する傾向が見られます。このような降水量の変化をもたらす主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 熱帯低気圧が発達した台風が、日本付近を接近・通過することが増えるため | 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東の風が影響するため | 3. 小笠原高気圧とオホーツク海高気圧の間に停滞する梅雨前線が活発になるため | 4. シベリア高気圧の発達により、湿った北西の季節風が吹き込むため |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
- 問8 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈は、その標高の高さや日本の国土における形態的な特徴から、共通して何と呼ばれていますか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|------------|----------|
| 1. リアス海岸 | 2. フォッサマグナ | 3. 日本の穀倉地帯 | 4. 日本の屋根 |
|----------|------------|------------|----------|
- 問9 日本の大部分を占める気候帯と、北海道が属する気候帯の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|---------------------|----------------------|---------------------------|
| 1. 日本の大部分：温帯、北海道：冷帯（亜寒帯） | 2. 日本の大部分：熱帯、北海道：温帯 | 3. 日本の大部分：温帯、北海道：乾燥帯 | 4. 日本の大部分：乾燥帯、北海道：冷帯（亜寒帯） |
|--------------------------|---------------------|----------------------|---------------------------|
- 問10 新潟県上越市などの日本海側に位置する都市で見られる、降水量の推移の特徴を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 冬に北西の季節風の影響を受けるため、1月や12月の降水量が月間300mmを超えるなど、夏よりも冬に降水量が多い。 | 2. 冬の気温が氷点下になるほど非常に低く、年間を通して降水量は控えめである。 | 3. 季節風が山地に遮られるため、年間を通して降水量が比較的少なく、1,000mmを下回ることもある。 | 4. 夏は太平洋からの季節風の影響で降水量が多くなるが、冬は乾燥した晴天の日が続く。 |
|---|---|---|--|
- 問11 川が山間部から盆地や平地へと流れ出る場所に形成される、運ばれてきた土砂が堆積してできた扇形の地形を何というか、名称を答えなさい。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 扇状地 | 2. 台地 | 3. 三角州 | 4. 砂丘 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問12 日本の東側の海域に関する記述において、千島列島に沿って北から南へと流れる寒流であり、栄養分が豊富なことから魚の餌となるプランクトンを多く運んでくる海流の名称を選択してください。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------|----------|-------------|
| 1. 親潮（千島海流） | 2. 対馬海流 | 3. リマン海流 | 4. 黒潮（日本海流） |
|-------------|---------|----------|-------------|
- 問13 日本の沿岸部などで見られる、四角い枠の中に「人が階段を駆け上がるような様子」と「その背後から大きな波が迫っている様子」が描かれた図記号（ピクトグラム）を用いた標識は、主にどのような目的で設置されていますか。 (2020年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 1. 大規模な火災が発生した際の緊急集合場所を知らせるため | 2. 土砂災害が発生しやすい急傾斜地であることを示すため | 3. 津波が発生した際の避難場所や避難方向を示すため | 4. 大雨による河川の氾濫で浸水する危険があることを警告するため |
|-------------------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
- 問14 日本の河川は、世界の主要な河川と比較して「長さが短く、流れが急である」という特色を持っています。この河川の特色が、日本の自然災害や人々の生活に与えている影響についての説明として正しいものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 雨が降ると一気に水が海へ流れ出るため、洪水が起こりやすく、治水や利水のためにダムが多く建設されてきた | 2. 川の長さが非常に長いため、下流地域に水が届くまでに時間がかかり、生活用水が常に不足している | 3. 勾配が平坦であるため、水力発電に適した場所が少なく、日本の電力のほとんどは河川以外のエネルギーで賄われている | 4. 流れが非常に緩やかなため、内陸部まで大型船が遡上しやすく、古くから河川を利用した水上交通が極めて盛んである |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 市の中に複数の行政区を設け、それぞれに区役所を設置して窓口業務を行っている。	政令指定都市は非常に広い面積や多くの人口を抱えるため、市民の利便性を高めるために市を「区」に分け、区役所を設置しています。これにより、都道府県から委譲された健康、福祉、土木などの多様な業務を、住民の身近な場所で処理できる体制を整えています。
問2	答え 1 ヒートアイランド現象	都市部では緑地や水面が少なく、熱を蓄えやすいアスファルトやコンクリートに覆われている面積が広いと、夜間も気温が下がりにくくなります。これに加えて、建築物や自動車から放出される人工排熱が滞留することで、等温線を描いた際に都市部が島のように周囲より高温になることから、この名称と呼ばれます。
問3	答え 1 標高が高く山に囲まれているため、年間を通して降水量が少なく、冬の寒さが厳しい。	中央高地は本州の中央部に位置する内陸の地域です。周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、年間降水量が1,000ミリメートルを下回るほど少なくなります。また、内陸部に位置し標高も高いため、夏と冬の気温差が大きく、特に冬の冷え込みが非常に厳しいことが特徴です。他の選択肢は、日本海側、南西諸島、太平洋側の気候をそれぞれ示しています。
問4	答え 4 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。	日本の地形を理解する上で、環太平洋造山帯という位置関係は重要です。この造山帯は地球上のプレートが沈み込む場所などに形成されるため、地下のマグマが発生しやすく火山が形作られるほか、プレートのひずみが解放される際に大規模な地震が発生します。これに対し、安定陸塊は地震がほとんどなく、アルプス・ヒマラヤ造山帯はアジアからヨーロッパにかけて横断する別の造山帯です。
問5	答え 1 フォッサマグナ	ラテン語で「大きな溝」を意味するこの地形帯は、日本列島の形成過程で生じた巨大な陥没地帯に、新しい地層が厚く堆積してできたものです。この境界を境に、日本列島の地質構造が大きく異なるため、日本の自然環境や地形の成り立ちを理解する上で非常に重要な区分となっています。
問6	答え 4 太平洋側の気候であり、夏は湿った南東の季節風の影響を受け、冬は北西の季節風が山脈に遮られるため乾燥した晴天が続く。	東京に代表される太平洋側の気候は、夏から秋にかけて降水量が多くなるのが特徴です。夏は小笠原気圧団から吹き出す南東の季節風が湿気をもたらし、秋には台風や秋雨前線の影響で降水量が最大になります。一方、冬は大陸からの北西の季節風が奥羽山脈や三国山脈などの山々に遮られ、日本海側に雪を降らせた後の乾いた空気が吹き下ろすため、晴天の日が多くなり乾燥します。これにより、1月の平均気温は5度前後、8月は25度以上の熱帯夜を含む高温となり、冬の降水量が極端に少ないというグラフの推移を示します。
問7	答え 1 熱帯低気圧が発達した台風が、日本付近を接近・通過することが増えるため	8月から9月にかけては、熱帯付近で発生した台風が日本列島へ接近・通過する回数が多い時期にあたります。特に那覇市や宮崎市といった日本の南部に位置する太平洋側の地域では、台風がもたらす湿った空気や発達した雲の影響を強く受けるため、他の月と比較して9月の降水量が著しく増加する傾向があります。選択肢にある「梅雨前線」は主に6月から7月、「北西の季節風」は冬の気候に影響を与えるものです。
問8	答え 4 日本の屋根	飛騨・木曽・赤石の3山脈はいずれも標高3000メートルを超える高い峰々を多く持っています。本州のほか中央で最も高い部分を形成していることから、家屋の屋根に例えて「日本の屋根」と呼ばれます。この巨大な山塊は、日本海側と太平洋側の気候を分ける大きな壁の役割も果たしています。
問9	答え 1 日本の大部分：温帯、北海道：冷帯（亜寒帯）	日本は南北に長く、緯度によって属する気候帯異なります。本州、四国、九州の大部分は四季の変化がはっきりとした温暖な「温帯」に属していますが、より緯度が高い北海道は、冬の寒さが厳しく夏が短い「冷帯（亜寒帯）」に分類されます。熱帯は沖縄などの南西諸島の一部で見られる気候であり、乾燥帯は砂漠などが広がる地域を指すため、日本には存在しません。
問10	答え 1 冬に北西の季節風の影響を受けるため、1月や12月の降水量が月間300mmを超えるなど、夏よりも冬に降水量が多い。	日本海側の気候は、冬にシベリア気団から吹き出す北西の季節風が、暖流の流れる日本海の上空を通る際に水蒸気を蓄えることで形成されます。この湿った空気が日本列島の山脈にぶつかると、日本海側には大雪や雨がもたらされ、太平洋側とは対照的に冬の降水量が非常に多くなるという特徴があります。
問11	答え 1 扇状地	山地を流れる急峻な河川が平地に出る際、勾配が緩やかになることで流速が落ち、それまで運搬してきた土砂がその場に積み重なることで形成されます。等高線を確認すると、山の出口（谷口）を頂点として、平地側へ同心円状に広がっていることが特徴です。
問12	答え 1 親潮（千島海流）	千島列島に沿って南下してくるため千島海流とも呼ばれる寒流です。この海流はプランクトンを豊富に含んでおり、日本の太平洋側の漁業において重要な役割を果たしています。日本海側を流れる寒流であるリマン海流との混同に注意が必要です。
問13	答え 3 津波が発生した際の避難場所や避難方向を示すため	この図記号は、津波避難場所や津波避難ビルを示すために全国で統一されたデザインです。波が迫る様子と、高い場所へ逃げる人の様子を視覚的に表現することで、文字が読めない子供や外国人でも、一目で「津波から逃げるための場所」であることを理解できるように工夫されています。
問14	答え 1 雨が降ると一気に水が海へ流れ出るため、洪水が起こりやすく、治水や利水のためにダムが多く建設されてきた	日本の河川は勾配が急であるため、大雨が降ると短時間で大量の水が下流に押し寄せ、洪水を引き起こしやすいというリスクがあります。このため、古くから堤防の整備や、水を貯めて調節するためのダム建設といった治水対策が行われてきました。また、急流を活かした水力発電や、短期間で海へ流れてしまう水を確保するための利水対策も、この地形的特徴に基づいています。